

1.テーマ 犬の殺処分ドイツとの比較

学籍番号名前 21911322 星野岳 21911366 谷部翼

2.現在の日本とドイツの犬の殺処分をまとめる。

3.51人に調査、Google foamsを使用

まずはじめに、なんのペットを飼っているか調査しました。飼っている人の中で多かったのは犬や猫です。

次に、犬の殺処分のことをどう思っているかです。大半以上の人犬の殺処分は良いと言っています。

次に日本とドイツの殺処分の違いについてです。

日本の殺処分の平均は、一年で約7000匹もいます。

それに比べてドイツは、0匹です。この違いは、犬を飼う際に日本はなんもないがドイツは犬税があることが1番の違いだと思います。

次に犬の殺処分を抑える取り組みは足りているかです。

現在日本は犬の殺処分の対策は大半の人が足りていないと答えている。実際に対策という対策はない。日本は呼びかけ程度しかしていないです。対策をしていないから犬の殺処分が減らないということがわかります。

次に、日本でティアハイムを利用した対策は賛成かです。

賛成の人が多くことがわかります。日本はドイツと違ってペットショップがあります。ドイツにはペットショップがありません。そこで、賛成意見も多いので、日本もティアハイム制度も導入したら犬の殺処分も減るの可能性もあるということがわかります。

次に犬税です。日本に導入するかしないかのグラフは賛成反対が大体半々に割れています。反対意見が減れば犬の殺処分は減ることがわかります。

次に保証人をつけるかつかないからです。

保証人とは、犬をもし飼えなくなってしまった場合に引き取ってくれる人です。もし、飼えなくなってしまうと殺処分や捨て犬が増えてしまいます。賛成意見が多いのでこのような政策を導入した方がいいということがわかります。

このようなことなら、ドイツの政策を参考にすることで日本の殺処分は減ることができるということがわかる。

現在犬の殺処分は良いと言っている人が多い。日本の平均殺処分数は約7000匹でドイツは、0匹という結果になっている。また、日本の殺処分を抑える取り組みは足りているかというグラフは、足りていないが圧倒的に多い。このようなことから、日本はドイツのように、殺処分数を減らす取り組みを行った方がよい。殺処分を減らすには、ドイツと同様に犬を飼うときに犬税を作れば殺処分や捨て犬などが減っていくだろう。